

3.21さようなら原発全国集会

日時 2023年3月21日(火・祝)
13:30~
場所 代々木公園B地区・野外ステージ
内容 トークライブ・デモ行進

自治労茨城

水戸市桜川 2-3-30 自治労茨城県本部
Eメールアドレス kenhonbu@j-ibaraki.jp
編集発行人 = 千歳益彦
毎月5の日発行
定価 = 1部5円(組合費に含む)
印刷所 = コトブキ印刷株式会社



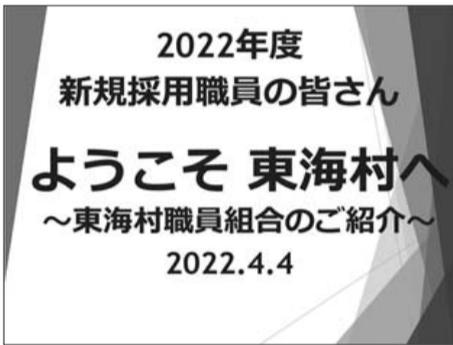
13単組43人が参加した第1回ユニオンセミナー

県本部は、2月25日に水戸市の自治労会館と牛久市の自治労県南会館の2会場をウェブでつなぎ、第1回ユニオンセミナーを開き、13単組43人が参加しました。毎年開催するこのセミナーは、多くの単組の役員が交代を迎えるこの時

期に合わせ、労働組合の基礎的な活動を学ぶ講座として位置づけ行っています。その後は、4つの分散会グループに分かれ、各職場の状況報告や課題について意見交換を行いました。一方、離職傾向にある職場の現状を当局へ確認させるなど、職場の課題

「給与制度の仕組み」「私たちの権利と団体交渉」

職場改善は要求・交渉から 第1回ユニオンセミナー



資料を用意して歓迎と組合説明を行った北茨城市職と東海村職が事例紹介

2月24日でロシアのウクライナ侵攻から1年が経過する中、さようなら原発1千万人アクション実行委員会と戦争させない・9条壊すな！総がかり

り行動実行委員会は、24日に日比谷野外音楽堂で「ロシアのウクライナ侵攻から1年ウクライナに平和を！」と題する集会を開きました。

ウクライナ侵攻から1年 平和を求め集会・デモ

国連高等弁務官事務所報告では、この1年に戦争で亡くなったウクライナの民間人は、子ども433人を含む7031人とされています。ウクライナとロシアの兵士の死傷者も数え切れません。ロシアの核兵器使用の脅威も収まらず、原発への攻撃や事故による危険性も続いています。

県本部は2月22日、新規採用職員と未加入者の組合加入推進にむけて新規採用職員等組織化対策会議を開きました。はじめに、千歳委員長はあいさつで、「新規採用職員の組合への全員加入を追求し、組織力・交渉力を強化し職場改善にむ

次の、花島副委員長と花岡自治労共済支部事務局長が共済推進の具体的進め方を提起しました。組合説明会の中で推進ツールを活用した共

書記長からは、これまでの5月の当局説明会内で行ってた組合説明会を前倒して4月に実施し、マンツーマンによる組合説明と加入届の同時回収など、執行部が県本部役員とともに新採加入の対応を考案した取り組みの経過を報告しました。これら県内の好事例も参考に、新規採用職員100%組合加入、未加入者の組合加入も合わせ、組織拡大にむけて取り組みを進めていきたいと思います。

組織の拡大めざそう 新規採用職員等組織化対策会議

茨城市職連合から新規採用職員説明会の取り組み事例報告を受けました。東海村職の上田書記長は、当局説明会の昼休みを使っての組合説明会実施について報告。組合側が昼食を準備し、執行部4役とともに青年部若手組合員も説明会に入り、組合加入はもちろんのこと共済やろうきん等の説明など見やすく、簡潔に和やかな雰囲気心がけての加入説明会を行っていること報告しました。北茨城市職連合の金澤



組合加入推進にむけて開いた組織化対策会議

トルコ・シリア地震

取り組み中の「国際連帯救援カンパ」の中から被災者へ支援します(県本部集約期限4月3日)

医療現場の処遇改善を

衛生医療評議会総会

県本部衛生医療評議会は、2月22日に定期総会を行い、1年間の活動報告と今後の方針と新役員体制を決定しました。

山田議長（県職連合）は、コロナ禍でもウェブを活用し最低限の活動はできた。新型コロナの感

染症法上の位置づけが5類になることとなり、今後、新たな課題も多く出てくること予想される。引き続き連携し取り組んでいこうとあいさつしました。

来賓の千歳委員長は、コロナ対応など日常から

多忙な業務を行う医療現場の組合員に対し敬意を表するとともに、めまぐるしく変わる情勢でも処遇や職場改善の取り組みを呼びかけ、公的医療機関の病床数削減や再編等の政策に職場の意見を反映させるため、4月23日

衛生医療評議会執行体制

議長	山田 公治 (県職連合・県立中央病院)
副議長	大友 晴美 (北茨城市職連合・北茨城市市民病院)
事務局長	柳生 貴史 (県本部)
幹事	浦住 優子 (北茨城市職連合・北茨城市市民病院)
幹事	山田 裕之 (笠間市職・笠間市立病院)
幹事	稲見 菜 (笠間市職・笠間市立病院)
幹事	関 京子 (県職連合・県立中央病院)
幹事	園原 一恵 (県職連合・県立中央病院)
幹事	埴 淳 (県職連合・こころの医療センター)
幹事	庄司 貴光 (県職連合・こころの医療センター)

統一要求化を図る

町村評議会が総会開く

県内8町村職でつくる県本部町村評議会は、2月3日、自治労会館で2023年度総会を開きました。

はじめに中川議長（阿見町職）から、「町村職

は春闘から要求している」とメッセージがありました。

総会では、本部町村評議会の賃金闘争・組織強

化拡大交流集会への参加や県本部町村職交流集会を開き、町村職の人員不足や賃金についての学習を行い、改善にむけ取り組んできた経過などが報告されました。

活動方針では、さらなる町村職の連携の強化とともに、町村評議会での

町村評議会執行体制

議長	藤田 光希 (大子町職)
副議長	佐藤 洋輔 (東海村職)
事務局長	谷田部 恵太 (県本部)
幹事	石井 康之 (大洗町職)
幹事	瀧田 真史 (城里町職)
幹事	山崎 祥伸 (茨城町職)
幹事	立見 典子 (阿見町職)
幹事	飯島 崇弘 (美浦村職)
幹事	松岡 渉 (河内町職)

2023新春クロスワード 当選者決定

新年号掲載の新春クロスワードは応募総数555通の中から抽選で次の方々が当選しました（敬称略）。たくさんのご応募、ご意見ありがとうございました。

◆特別賞
常陸牛8千円相当5名
上野 祐（北茨城市職）
小谷松初美（高萩市職）
鴨川 千秋（那珂市職）
海老原 健（取手市職）
児玉 礼子（取手市職）

賞品の発送は、3月下旬を予定しています。

三田寺祐子（那珂市職）
近藤 麻里（水戸市職）
岡野 潤司（水戸市職）
朝日出祥一（龍ヶ崎市職）
板橋 裕介（龍ヶ崎市職）
池田 昌弘（阿見町職）
武士 和良（県職連合）
石井 千恵（県職連合）
田中 賢治（県職連合）
織裳 幸子（県職連合）
北村 立実（県職連合）
菊池志津子（県職連合）
塩田有美子（県職連合）
矢吹 惇（県職連合）
根本かおり（県職連合）
磯野 隼人（県職連合）

◆県本部賞
クオカード千円20名
小川 雅透（日上市職）
小池 永男（日上市職）
青木美紀子（日上市職）
檜山 貴紀（常陸太田市職）

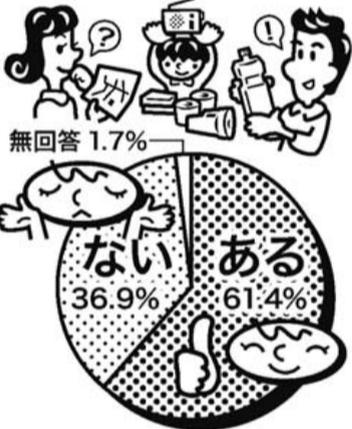


くらしと統計

防災 「話し合った」6割

今年、死者・行方不明者が約10万5千人に及んだ関東大震災から100年。防災意識を高めることが改めて求められますが、内閣府が先頃発表した防災に関する世論調査（約1800人）によると、自然災害について話し合ったことがある人は6割にとどまりました。話し合ったことがないという人にその理由を聞いたところ、「話し合うきっかけがなかった」がおよそ6割。「自然災害が起きても、すぐに連絡が取れると思う」「話し合う時間がなかった」がそれぞれ2割でした。話し合う内容は、避難場所・避難経路が8割、次いで食料・飲料水、家族などの連絡手段、非常持ち出し品についてなどが続きます。

自然災害への対処 話し合ったことがありますか？



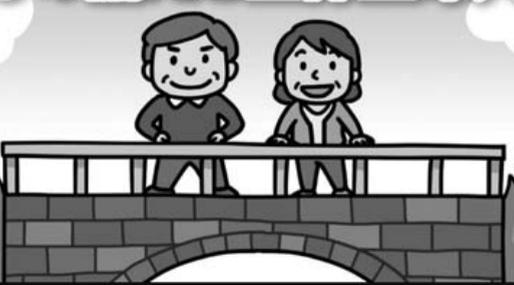
内閣府「防災に関する世論調査」

東日本大震災が起きた3月11日も間近。この機会にぜひ防災について話し合い、対策をとりたいたいものです。

団体生命共済

がんの備えも団体生命共済で

すべての医療コースにセットされています！



- がん診断共済金
- 上皮内がん診断共済金
- ➔2年に1回を限度に複数回払い
(一定の条件を満たした場合)

●1回あたり1,000万円限度の「先進医療共済金」も、すべての医療コースにセットされています。



契約にあたってはパンフレットをご覧ください
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください

こくみん共済（全労済） 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保険の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住または勤務地（先）の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。